



ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 3TP

1 609 92A 3TP (2018.03)

コードレスクリーナー
GAS 18V-1H 型 (本体のみ)



取扱説明書

このたびは、弊社コードレスクリーナーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。



- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
バッテリー工具全般についての注意事項	2
コードレスクリーナーについての注意事項	9
充電器についての注意事項	14
●リサイクルのために	
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	15
●本製品について	
用途	16
各部の名称	16
仕様	17
標準付属品	18
使用可能バッテリー・充電器（別売）	18
●使い方	
バッテリー（別売）を準備する	19
作業前の準備をする	22
作業する	24
●困ったときは	
故障かな？と思ったら	25
修理を依頼するときは	26
●お手入れと保管	
クリーニング	27
保管	33

ご安全
上
注
意
の

のリ
サイ
クル
に
た
め
に

本
製
品
に
つ
い
て

使
い
方

困
っ
た
と
き
は

お
手
入
れ
と
保
管

安全上のご注意

ご安全 注意の

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになったら後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたコードレスクリーナーには、当てはまらない項目も含まれています。

 **危険**

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

ご安全
注意の
意の

工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

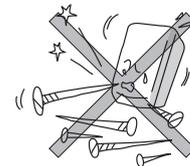


3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

 **警 告**

ご安全
注上の
意の

1. 正しく充電してください。

- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が0℃未満、または温度が45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ コードレス工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



4. 保護めがねを使用してください。

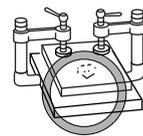
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。



7. 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



ご安全
注意の

8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

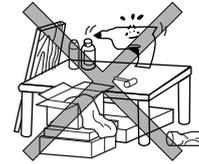
12. ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。

捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

 **注 意**

ご安全
注上
意の

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 子供や補助を必要とする人、および本機の操作に知識のない人は、使用しないでください。

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ コードレス工具やバッテリーを、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. 作業に合ったコードレス工具を使用してください。

- ◆ 小型のコードレス工具やアタッチメントは、大型のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

6. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

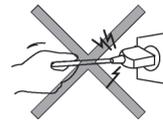


7. コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはポッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

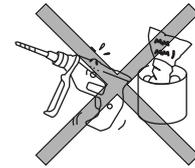
12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ コードレス工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



13. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。



14. コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の方はコードレス工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

コードレスクリーナーについての注意事項

コードレス工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、コードレスクリーナーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

ご安全
注意の

警告

1. バッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。
 - ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、クリーナーに支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
2. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。
 - ◆ 事故の原因になります。
3. 取扱説明書、およびボッシュカタログに記載されているアクセサリ以外は使用しないでください。
 - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、安全に作業できない恐れがあります。
4. 子供や補助を必要とする人、およびクリーナーの操作に知識のない人には、絶対に使用させないでください。
 - ◆ 子供や知識がない人が使用すると、事故の原因になります。
5. 使用方法を十分理解してからクリーナーを使用してください。
 - ◆ 十分な情報により、事故を減らせます。
6. 子供がクリーナーで遊ばないように、注意を払ってください。
 - ◆ 遊ぶと、事故の原因になります。
7. 人体に害を及ぼす物質（ブナやオーク材、石材、石綿などの粉じん）は、絶対に吸じんしないでください。
 - ◆ これらの素材は発がん性があると考えられています。

8. 金属の切り粉、切断作業時に発生する火花、火の付いたタバコの吸いがらなど高温のものや引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）および油、薬液などの液体は絶対に吸じんしないでください。

また、引火および発火性のものの近くでは使用しないでください。

◆ 出火や爆発の原因になります。

9. クリーナーは乾燥したゴミを吸じんするのに適しています。液体を吸じんしないでください。

◆ 液体が浸透すると、感電の危険性が増します。

10. 作業中は、十分に換気をしてください。

◆ 換気が十分でないと、健康を害する恐れがあります。

11. クリーナーは室内でのみ使用・保管してください。クリーナーを雨ざらしにしたり、ぬれた場所に置いたりしないでください。

◆ 濡れると、感電の恐れがあります。

12. 作業中に本体の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに電源を“切”にしてください。

使用を中止し、お買い求めの販売店またはポッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

13. 作業中は、ノズルやホース接続口に、手や顔などを近づけないでください。

◆ 近づけるとけがの原因になります。

14. 作業中は、関係者以外の人や子供を近づけないでください。

◆ 気が散ると集中できなくなります。

15. 鋭利なもの（割れたガラス、釘、針、カミソリの刃、石など）を吸じんしないでください。
 - ◆ 鋭利なものを吸じんすると、けがや故障の原因になります。
 - ◆ 鋭利なものを吸じんすると、フィルターが損傷する恐れがあります。
16. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、ホースやノズル、クリーナー本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
17. 吸じんしたものを取り除くときやアクセサリーの取り付け・取り外しをするとき、または点検・整備を行うのときは、必ずバッテリーをクリーナー本体から取り外してください。
 - ◆ バッテリーを取り外さないと、不意の作動による事故の原因になります。
18. 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者 of 診断を受けてください。
 - ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
19. バッテリーを乱暴に扱うと液漏れが発生する場合があります。その場合、直接手で触れないでください。誤って触れた場合は水で十分洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
 - ◆ バッテリーから漏れた液は、炎症や火傷をもたらす恐れがあります。
20. バッテリーを開けないでください。
 - ◆ 短絡の恐れがあります。
21. バッテリーは、釘やドライバーなど、尖ったものや外からの強い力で傷つく場合があります。
 - ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。

ご安全
注意の

22. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所や水気・湿気のある場所の近くに置かないでください。

◆ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。

23. クリーナーを使用しないときは、室内で、子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

◆ 子供が遊んだりすると、大変危険です。

24. 水洗いや風呂場での使用は、絶対にしないでください。

◆ 感電する恐れがあります。

 **注 意**

1. アクセサリーやモーター部とダストカップの接続は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実にしないと外れたりし、事故の原因になります。
2. ストープなど高温のものに近づけないでください。
 - ◆ 高温のものに近づけると、変色や変形の原因になります。
3. ダストカップの中に、汚水や汚物を入れたままにしないでください。
 - ◆ 入れたままにすると、悪臭の発生やダストカップのいたみの原因になります。
4. ダストカップ内は使用するたびに掃除し、損傷がないか点検してください。
 - ◆ 掃除や点検を怠ると、故障の原因になります。
5. 使用前に、フィルターやホースなどのアクセサリーが、確実に取り付けられているか、必ず点検してください。
 - ◆ 確実に取り付けられていないと、事故や故障の原因になります。
6. クリーナー本体の吸気口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。
 - ◆ 故障の原因になります。

ご安全
注意の
上

充電器についての注意事項

ご安全
注意の

ここでは、充電器をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

警告

1. 電源プラグに合った電源コンセントを使用してください。
電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。
 - ◆ 純正電源プラグに適合した電源コンセントを使用しないと、感電の恐れがあります。
2. 電源コードは乱暴に扱わないでください。
 - ◆ コードが損傷したりもつれたりしていると、感電の恐れがあります。
3. やむを得ず、湿気の多い場所で充電器を使用する場合は、漏電遮断器（RCD）を設置して給電してください。
 - ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。
4. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。
5. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ◆ 爆発や火災の恐れがあります。
6. 充電器のバッテリー挿入部分には充電用端子があります。水や金属片などの異物を入れないでください。
7. 紙類や布類、畳、カーペット、ビニールなどの上や、綿ぼこりなどほこりの多い場所では充電しないでください。
 - ◆ 火災の恐れがあります。
8. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを電源コンセントから抜き、充電を中止してください。
 - ◆ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ポッシユは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポッシユ電動工具取扱店、ポッシユ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

のリ
サイ
クル
にル

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

本製品について

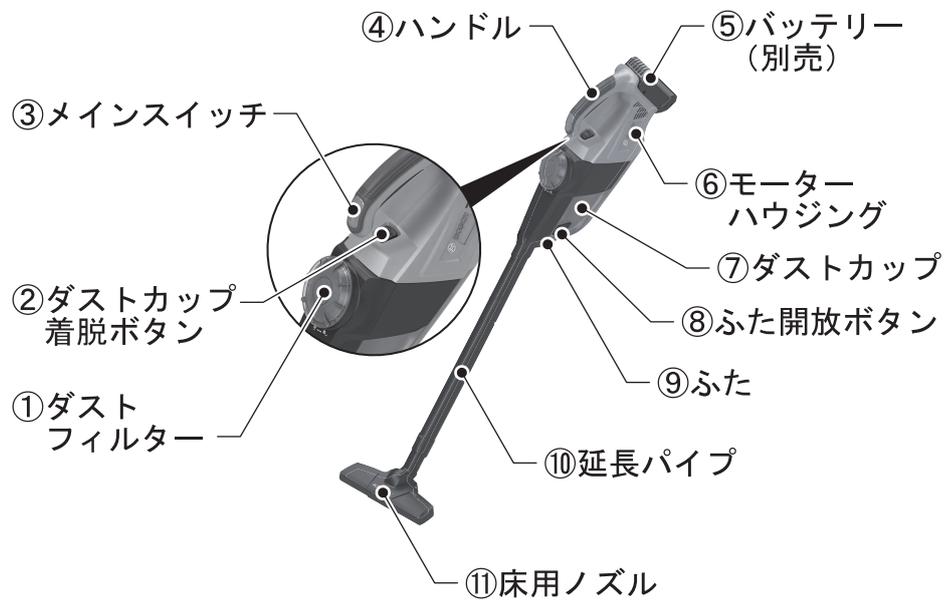
用途

- ◆ 有害でない乾燥したゴミの吸じん

☞ このクリーナーは、紙パックを使用する必要がありません。

各部の名称

本製品について



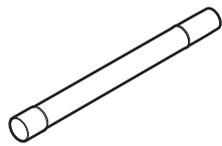
◆ イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様	
型 番	GAS 18V-1H
定格電圧	DC18V
風 量	10L/秒
真空度 *	6kPa
集じん容量	0.7L
質 量	1.6kg (2.0Ah、3.0Ah バッテリー装着時)
1 充電あたりの作業時間 (目安) *	5~7 分/Ah
原産国	中国

* 使用するバッテリーの容量により異なります。

本
製
品
に
つ
て

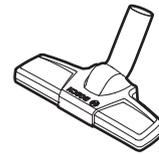
標準付属品



延長パイプ(1本)

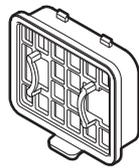


すき間ノズル

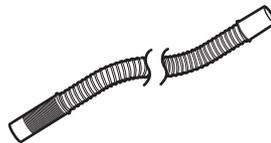


床用ノズル

本製品にて

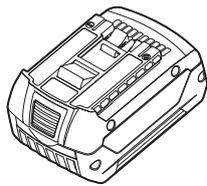


フィルター
(本体装着済み)

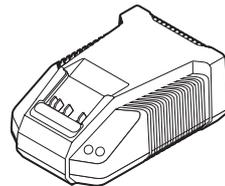


フレキシブルホース

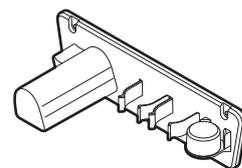
別売アクセサリ



プロ用コードレス工具の
リチウムイオンバッテリー
18V



専用充電器



壁掛け用ホルダー

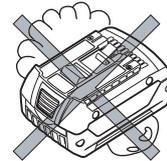
◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

バッテリー（別売）を準備する

● バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？



● バッテリーを充電する

充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

☞ リチウムイオンバッテリーは、バッテリーの寿命を縮めることなく、いつでも充電が可能です。充電を途中でやめてもバッテリーを傷めることはありません。



危険

- ◆ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリー⑤を充電してください。



警告

- ◆ バッテリー⑤が熱くなっているときは、冷めてから充電してください。
- ◆ エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。
- ◆ 電源に 100V が確実に供給されていることを確認してください。特に、延長ケーブルを使用するときは必ず事前に確認してください。
- ◆ バッテリー挿入口に異物が入らないよう注意してください。ショートの原因になります。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

2. 充電器にバッテリー⑤を差し込みます。
充電が始まります。
3. 充電が終わったら、バッテリー⑤を充電器から抜きます。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜きます。



- ☞ バッテリー⑤は、出荷時に多少充電されていますが、初めて使用される場合は、充電器でバッテリー⑤をフル充電し、完全に充電されたことを確認してください。
- ☞ 本機には、電子セル保護システム（ECP機能）がついております。クリーナー本体が過負荷になった場合やバッテリー⑤が過放電または使用温度範囲外になった場合、バッテリー保護のためにクリーナー本体が自動的に停止します。
- ☞ 電子セル保護システム（ECP機能）が作動して、クリーナー本体が自動的に停止したときは、「メインスイッチ③」を押し続けしないでください。
- ☞ 正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合は、バッテリー⑤の寿命が尽きたと考えられます。新しいバッテリー⑤と交換してください。

● バッテリー（別売）を取り付ける・取り外す

- 注意** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「メインスイッチ③」に手が掛からないように注意してください。

取り付け

バッテリー⑤を、クリーナー本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。

- 注意** ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

 バッテリー⑤は正しい位置で挿入したときのみ奥まで押し込みます。無理に押し込みだりしないでください。



⑤バッテリー（別売）

取り外し

- 注意** ◆ バッテリー⑤を引き出す際、けがをしないよう注意してください。

「バッテリー取り外しボタン」を押しながら、バッテリー⑤を引き出します。



使
い
方

作業前の準備をする

-  **警告** ◆ けがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときはバッテリー⑤をクリーナー本体から取り外してください。

● フィルターが確実に取り付けられているか確認する

ダストフィルター①・ペーパーフィルターが確実に取り付けられているか確認してください。

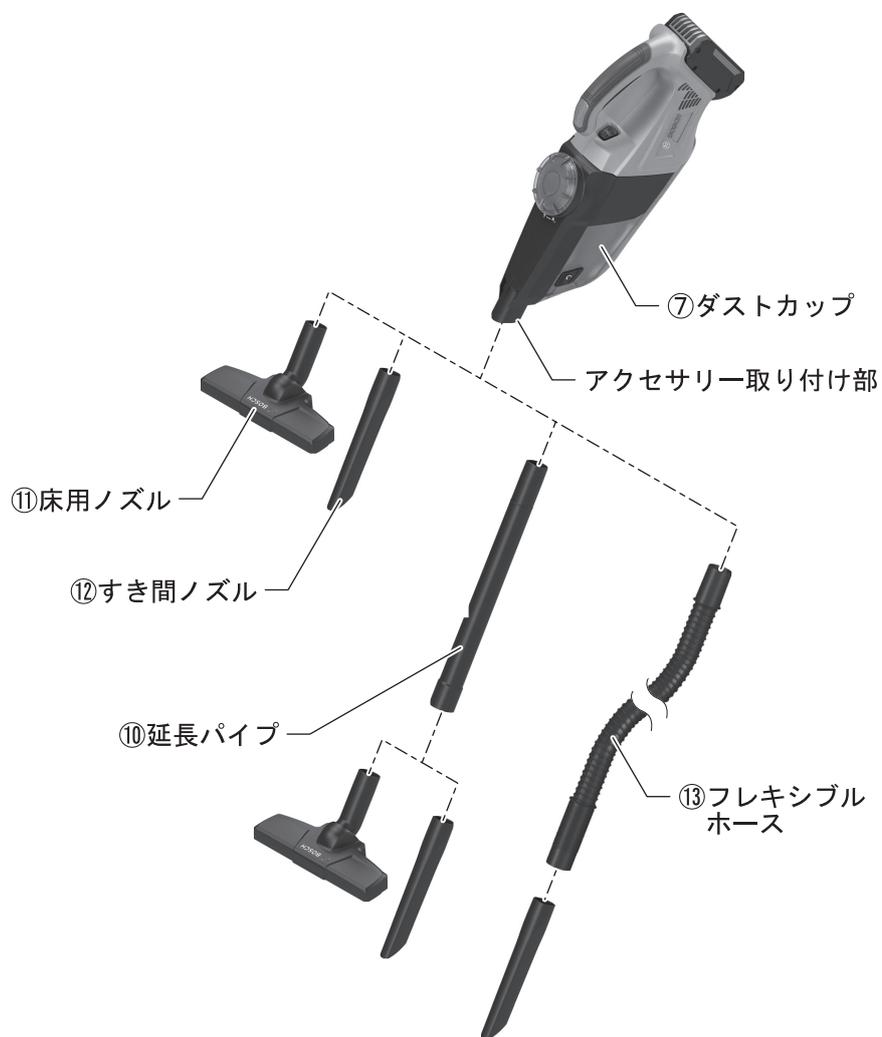
また、フィルターに損傷がないことも確認してください。損傷したフィルターは使用せず、交換してください。

● ノズル・延長パイプ・ホースを取り付ける・取り外す

作業の状況に合わせて、床用ノズル⑪・すき間ノズル⑫・延長パイプ⑩・フレキシブルホース⑬を取り付けます。

取り付け

ダストカップ⑦のアクセサリ取り付け部に、床用ノズル⑪・すき間ノズル⑫・延長パイプ⑩・フレキシブルホース⑬を差し込んでください。



使
い
方

取り外し

床用ノズル⑪・すき間ノズル⑫・延長パイプ⑩・フレキシブルホース⑬を引き抜いてください。

作業する

● 本体にバッテリー（別売）を取り付ける

 **警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「メインスイッチ③」に指が掛からないよう注意してください。

バッテリー⑤を、クリーナー本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。

 **注意** ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。



⑤バッテリー（別売）

 バッテリー⑤は正しい位置で挿入したときのみ奥まで押し込みます。無理に押し込んだりしないでください。

使
い
方

● 電源を入れる

電源の入/切

「メインスイッチ③」押すと電源が入り、再度押すと停止します。



本機には、電子セル保護システム（ECP 機能）がついております。クリーナー本体が過放電になった場合やバッテリーが過放電または作業可能温度外になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。

クリーナー本体が停止している状態で「メインスイッチ③」を押し続けると、故障の原因になります。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直します。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
吸じん力が弱い	ダストカップ⑦の中のゴミがいっぱいになっている フィルターが目詰まりしている バッテリー⑤が消耗している	ゴミを捨てる フィルターのゴミを取り除く バッテリー⑤を充電するか、交換する
充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い	バッテリー⑤の寿命が尽きた	バッテリー⑤を交換する

困ったときは

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。

コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

困ったときは

お手入れと保管



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑤をクリーナー本体から取り外し、お手入れしてください。
- ◆ ダストカップ⑦は、水洗いしないでください。クリーナー本体の故障と感電の危険性が増します。

クリーニング

● ゴミを捨てる



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑤をクリーナー本体から取り外して作業を行ってください。

 ダストカップ内のゴミは使用するたびに捨て、クリーナー本体、フィルターなどを常に清潔に保ってください。

1. 「ふた開放ボタン⑧」を押してふた⑨を開き、ダストカップ内のゴミを捨てます。



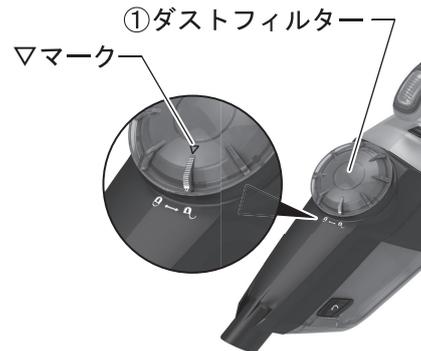
2. ふた⑨を閉じます。
「ふた開放ボタン⑧」部で、“カチッ”と音がして、確実に閉まったことを確認してください。

 必要に応じてダストフィルター①やペーパーフィルターも掃除してください。
(28 ページ「ダストフィルターを掃除する」、31 ページ「回転気流ユニットのペーパーフィルターを掃除する」参照)

● ダストフィルターを掃除する

 **警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑤をクリーナー本体から取り外して作業を行ってください。

1. ダストフィルター①を反時計方向に回して、▽マークを“”▽マークに合わせます。



2. ダストフィルター①をダストカップ⑦から取り出します。
3. ダストフィルター①に付着したゴミを取り除きます。
4. ダストカップ⑦内のゴミを捨てます。



5. ダストフィルター①の▽マークが“”に合う位置で、ダストフィルター①をダストカップ⑦に差し込みます。
6. ダストフィルター①を時計方向に回して、▽マークを“”に合わせます。
7. ダストフィルター①が確実に取り付けられていることを確認します。

● 回転気流ユニットを掃除する



警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑤をクリーナー本体から取り外して作業を行ってください。

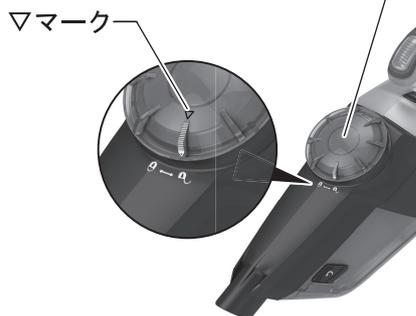
1. 「ダストカップ着脱ボタン②」を押してダストカップ⑦を取り外します。

②ダストカップ着脱ボタン



2. ダストフィルター①を反時計方向に回して、▽マークを“”に合わせ、ダストカップ⑦からダストフィルター①を取り出します。

①ダストフィルター



 回転気流ユニットは、ダストフィルター①が取り付けられていると、取り外すことができません。

3. フィルターグリップを持って、回転気流ユニットを引き抜きます。



保
お
手
入
れ
と
管

4. 回転気流ユニット内のゴミとダストカップ⑦内のゴミを捨てます。



5. 回転気流ユニットをダストカップ⑦に押し込みます。

 回転気流ユニットがしっかり押し込まれていないと、ダストフィルター①が取り付けられません。



6. ダストフィルター①の▽マークが“”に合う位置で、ダストフィルター①をダストカップ⑦に差し込みます。

7. ダストフィルター①を時計方向に回して、▽マークを“”に合わせます。

8. ダストフィルター①が確実に取り付けられていることを確認します。

9. ダストカップ⑦の穴にモーターハウジングの突起を合わせ、ダストカップ⑦を閉じます。
“カチッ”と音がして、確実に閉まったことを確認してください。



● 回転気流ユニットのペーパーフィルターを掃除する



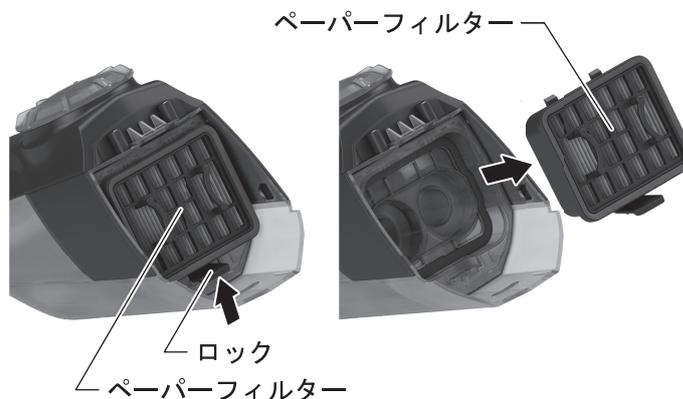
警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑤をクリーナー本体から取り外して作業を行ってください。

1. 「ダストカップ着脱ボタン②」を押し、ダストカップ⑦を取り外します。



2. ペーパーフィルターのロックをフィルター側に押し上げて、ペーパーフィルターを取り外します。



3. ペーパーフィルターに溜まったゴミを取り除きます。
ペーパーフィルターの縁をかたい表面の所に数回軽く当てると、ペーパーフィルターの奥に溜まっているゴミが落ちてきます。
4. ペーパーフィルターの上部にある突起を回転気流ユニットの穴に差し込み、ロック部を回転気流ユニット側に押し込みます。
ロック部が“カチッ”と鳴って、確実に取り付けられたことを確認してください。

保
お
手
入
れ
と
管

5. ダストカップ⑦の穴にモーターハウジングの突起を合わせ、ダストカップ⑦を閉じます。
“カチッ”と音がして、確実に閉まったことを確認してください。



● クリーナー本体を掃除する

- ・ 吸気孔や通気孔などに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- ・ バッテリー取り外しボタンやバッテリー装着部分に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- ・ 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

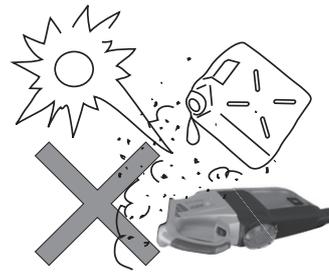
 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



保 管

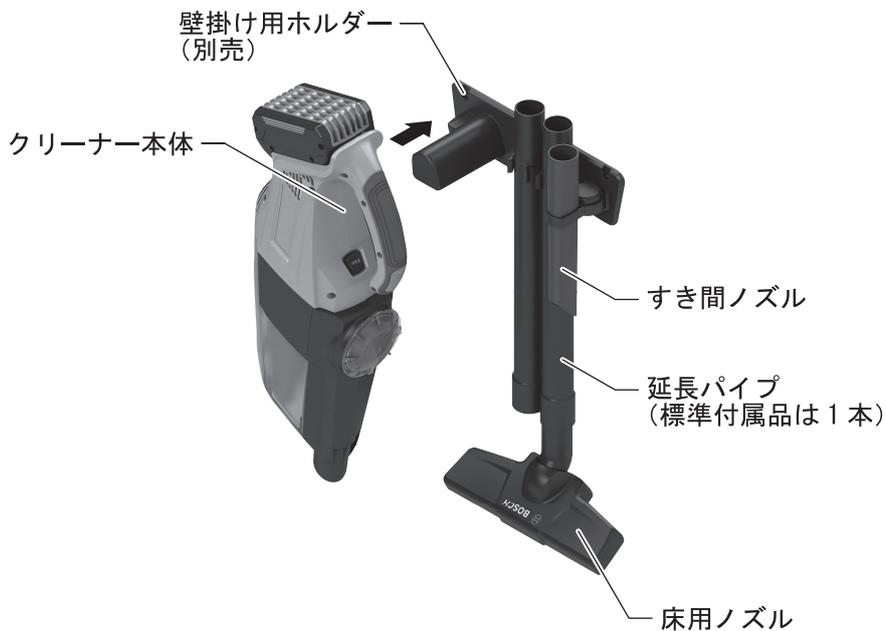
● 使用後は、バッテリーを取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリー⑤は50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼る。



● 収納する

壁掛け用ホルダー（別売）を壁などに取り付けると、クリーナー本体や付属品を省スペースで保管できます。



保
お
手
入
れ
と
管